

事例6 「継ぎ足して使用したテーブルタップの火災」

概要

この火災は、複合用途建物の4階物品販売店舗の売場から出火したものです。

原因は、売場で使用していたテーブルタップと延長コードの接続部において、差し刃、受け刃間による「接触部過熱」により発熱し、出火した。壁コンセントから、延長コード3本を用いて、ゲームセンターの機器用電源として使用しており、壁側に近い延長コードの接続部に、過大な負荷がかかったため接触部過熱により出火している。

防災センター勤務員は、自動火災報知設備受信盤が4階を表示したため、別の勤務員2人に119番通報と4階警備員への無線連絡を指示しました。無線連絡を受けた4階警備員が確認すると、売場の床付近から火炎が約1m立ち上がっているところを発見し、他の警備員及び店員数名と協力し、消火器23本を搬送して初期消火しました。

通報指示を受けた勤務員は、防災センターの電話で119番通報しました。

この火災で、火災を発見し初期消火を行った警備員が、煙を吸うなどして負傷しています。

教訓等

正規の電気配線工事をせずに、このような延長コードを用いると、先々で複数の機器に接続することがあり、元に近い部分の接続部に過大電流が流れて出火する。

また、一つのコンセントにマルチタップを接続して、タコ足配線を作ると、数年後には複数の機器が接続されて出火することとなる。職場では複数の人が関与することから、一般住宅とは違った意識で電気機器を扱う必要がある。

営業開始直後のショッピングモールから出火しており、火元の4階には従業員150人、客50人がいましたが、警備員及び店員の適切な避難誘導、初期消火により被害を最小限に抑えることができました。

写真 6-1 延長コードの接続部の焼損状況写真

